

## 物流段階での環境対策

### モーダルシフト、輸配送の効率化

物流段階におけるCO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>の排出量を削減するため、自社製品の輸送をトラックから鉄道・トラック 複合輸送システム(モーダルシフト)、直送・集約化による輸配送の効率化に努めています。1999年度のモーダルシフト率は8.5%でした。

CO<sub>2</sub>排出量は、物流システムの改善と梱包・荷姿改善による廃棄物削減量のトータルで1,097トン削減しました。効果金額は、867百万円となり、前年比(55%)増加しました。



毎月10トントラック500台分の出荷を貨車輸送に転換(小田原工場)

### 輸出品梱包材料の改善(農業機械)

木材梱包(パレット等)は、輸出品に使用した場合、回収ルート確保が困難なため繰り返し使用ができず、相手国で廃棄物が発生するといった問題が生じます。

そこで機械事業本部では、農業機械の輸出品について木材梱包から環境負荷がより少なく、回収再利用可能な鉄梱包(パレット)への転換を進めています。



木材梱包



鉄梱包

### 容器包装リサイクル法への対応

当社は、事業者や一般消費者向けに非常に多くの分野や用途への製品を販売しています。これらの製品に用いる容器包装の姿は千差万別で、ほとんどの製品は、容器包装リサイクル法の対象とならない荷姿で出荷されます。

当社の製品に使用し法律の対象となる容器包装の1998年度の全社使用量を初めて把握しました。

その結果、使用量の実績は、プラスチック製の容器包装で約365トン、紙製の容器包装で約558トンとなっていました。しかしながら、事業者向けの製品であったり、ほとんどは流通段階

で解梱されるため、一般消費者にまで渡り、最終的に一般廃棄物として出される量は極く少なくなっています。

これからも循環型社会構築のためのリサイクル可能な材質への変更と、地球温暖化防止のため容器包装の減量化への両面活動を積極的に実施します。

## オフィスでの環境対策

### 夏の軽装運動の実施

オフィスの適正冷房(設定温度28 付近)による省エネルギーの一層の推進を目的に7月～9月の3ヶ月間、ノーネクタイ、ノー上着運動を実施し、可能な限り軽装に努めています。

また、関西広域協議会、関西経済連合会と連携し、会員企業として省エネファッション採択宣言を実施し、運動の普及、定着化を図っています。

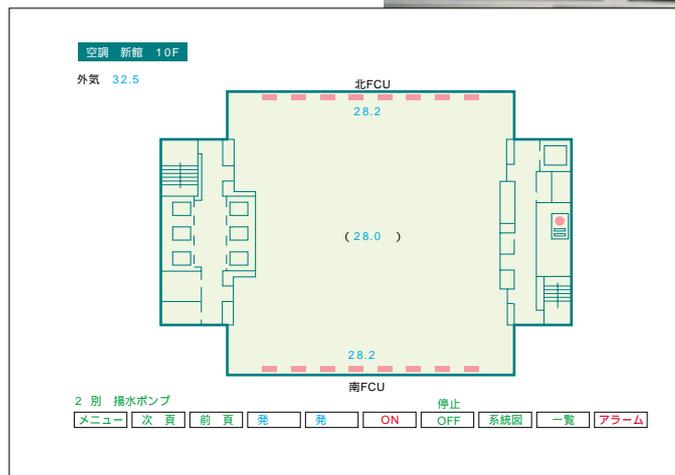


### オフィスビルの省エネルギー活動

本社ビルは、1999年の省エネルギー - 法改正により、第2種エネルギー管理事業所(電気)に指定されたのを機に本格的な省エネルギー活動を開始致しました。空調のインバーター化、適正管理により、1999年度の電気使用量は、前年比10%低減致しました。



中央制御室



室内温度分布図

### グリーン購入

1996年にグリーン購入ネットワークに加盟し、環境への負荷の少ない製品を優先的に購入するグリーン購入を推進しています。現在は、一部原材料、事務用品などを主体として取り組んでいますが、今後はさらに普及を図っていきます。

### リサイクル材料の購入量(千t)

